

令和7年度 第3回下呂市教育委員会会議録

1. 招 集 日 令和7年6月27日（金）
2. 会 場 星雲会館 西風の間
3. 開会・閉会 午後4時00分 ～ 午後5時08分
4. 出 席 者 教 育 長 中 村 好 一
委 員 河 尻 明 子
委 員 細 江 洋一郎
委 員 三 木 朋 哉
委 員 竹 田 小 織
委 員 無 笹 ゆかり
5. 欠 席 者 なし
6. 委員の他出席者 教育委員会事務局長 山 中 明 美
教育総務課長 細 江 実
学校教育課長 武 田 由香里
文化財課長 松 井 智 之
学校給食センター所長 今 井 健 人
地域振興部長 小 林 哲

7. 付議案件

- 日程第1 会議録署名者の指名
日程第2 会期について
日程第3 前回会議録の承認について
日程第4 教育長報告及び事務局報告について
日程第5 議第11号 就学援助申請に係る審査について
日程第6 協議、報告事項
- ・ランドセル無償配付事業について
 - ・中学生姉妹都市交流事業について
 - ・各課業務報告
 - ・その他

（開会に先立ち市民憲章の唱和）

- 教育長 これより、令和7年度第3回下呂市教育委員会を開会します。
教育長 日程第1、会議録署名者を指名します。本日、河尻明子委員にお願いします。
教育長 日程第2、会期について。会期は本日1日としてよろしいでしょうか。
（委員全員 異議なし）
それでは会期は本日1日といたします。
教育長 日程第3、前回会議の承認について、事務局より説明をお願いします。
（事務局長 会議録要旨を朗読）

教育長 ただ今の会議録にご異議がある方ありませんか。前回の会議について承認される方は挙手願います。

（全員挙手）

教育長 それでは前回会議録について承認といたします。

教育長 日程第4、教育長報告及び事務局報告をいたします。

①6月定例議会の報告

6月6日より27日までの会期で6月定例議会が行われました。今回は4人の議員さんから一般質問があり、私と事務局長で答弁をしました。

中島ゆき子議員からは、小中学校の今後の在り方について質問されました。現在、複式学級がある小学校と学年に複数学級のある中学校、昨年実施した「今後の学校の在り方に関するアンケート」の目的、対象者。小学校の統合について保護者からの意見として、宮田小と馬瀬小は統合の要望が多く、上原小は統合に反対の意見が多いことを伝えました。

さらに、義務教育学校のメリット、デメリットについても質問されました。メリットは、9年間を一貫したカリキュラムで編制するため、発達段階に応じた指導が目の前で行えること。中1ギャップの緩和や、解消が図れること。柔軟なカリキュラム編成が可能になり、児童が、専門性の高い教員の指導を受けられること。社会性の育成において異学年交流が増えること。下呂市においては、通学の時間が短くなること。学校と地域が連携を密にした教育を図っていただけることと答えました。デメリットは、発達段階の大きく違う子どもたちが在籍することで、小中合同行事の運営や集会の持ち方、小中学校間の打合せなど配慮が必要になり、教職員の業務量が増加する可能性があること。小学高学年のリーダー性を発揮する場所や卒業入学という節目が無くなる中で子どもたちの心にも寄り添う必要があること。下呂市においては、9年以上、人間関係が固定され、新たな人間関係を築く機会が減少することと答えました。

教育委員会の今後の動きとして、保護者や地域の思いを大切にしていこうとするスタンスは変わらないこと。統合に関する不安や課題などについては、教育委員会で答えたり、一緒に考えたりして丁寧な対応を図っていききたいと答えました。

田中喜登議員からは、益田清風高校の今後について問われました。教育委員会としては、益田清風高校を進路選択するよう外部からの押し付けはできないが、市内唯一の学校として、中学との連携を深め、魅力の発信に努めると答えました。そして、今年度新たに行う中高の連携の取組を紹介しました。

- (1) 夏休みに行われるオープンスクールを1、2年生も希望によって見学できること。
- (2) 従来の高校説明会に加え、9月に清風高生から自校のアピールを行ったり、質問に答えたりする機会を設けること。
- (3) 1月の清風高校学習成果発表会を中学生に公開すること。

田口琢弥議員からは、外国籍の子どもや保護者の対応について質問がありまし

た。現状、外国人児童生徒は 16 名。在籍校は下呂小 7 人、下呂中 7 人、金山小 2 人。国籍は、ネパール、タイ、フィリピン、モンゴル、ベトナム、イギリスの 6 か国。日本語指導が必要な児童生徒は 15 人と伝えました。市内の各校の取り組みとして、昨年度、下呂小に適応支援教室「さくら」を開設し支援体制を研究していること。成果として、最初に指導することは、児童に指示するための言葉を理解させること。次に自分の体の状態を相手にわかってもらうための言葉などを指導すること。少しずつ学級での生活に慣れてきた段階では、日本で生活するうえで必要となるスキルを指導していくこと。それに加え、日本人児童も学ぶ多文化共生学校に向かう体制づくりも大切であると答えました。

教育委員会として、下呂中には、さくら学級の支援に関わった人材を学業支援員として配置し、さくら学級を指導している者を兼務として支援に関わらせていること。そして、11 月 5 日「令和の学び等開発実践校」として下呂小の公表会を開き、成果を各学校に広めていくと答えました。

外国籍の保護者や先生等の困り事や相談などをどの様に解決しているのかについては、丁寧な対応を心がけていること。一人一人の学習ニーズが大きく異なる課題に対しては、保護者と学校職員が相談機会を設け、その子にあった指導計画を作成していること。関係機関と連携をとり、保護者や児童の困り感に寄り添う取り組みを行っていること。また、下呂中では、県の指定事業「教育における生成 A I の利活用に関する実証研究事業」で生成 A I を使い、外国籍の保護者に連絡文書を作るなど有効な方法を考えていると答えました。

大西尚子議員からは、部活動の地域展開について質問がありました。地域展開の進捗状況として、昨年度、本格的実施したこと。平日は、学校の勤務時間内で教職員が学校で指導、休日は、やりがいをもった地域の指導者とやりがいをもった教職員で、部活動のガイドラインに従って指導する本市の特徴を説明しました。

成果として、加入率は、今年度 87.9%と多くの生徒が加入していること。競技面として昨年度、全国大会以上の大会へ 19 名、東海大会以上の大会へ 54 名が出場していること。さらに、学校評価などにおける生徒の声を紹介しました。

保護者への支援体制は、従来どおりの部活動への経済的な支援。さらに、休日の移動手段について交通費の支援。子どもへの支援体制は、休日は、やりがいをもった専門性のある地域指導者 46 名、教職員 35 名の指導が受けられること。さらに、指導者には、指導力の向上を図れるよう研修会を開催していること。

今後のビジョンと期待として、こどもたち誰もが自分のやりたいことに挑戦でき、競技力等や社会性の発達が図れるものになるよう更に改善を図っていくこと。指導者においては、こどもの成長を願うことで、それぞれの生きがいが高まる取組になればと期待していること。種目によっては、地域の方々や高校生などが練習と一緒に参加できるなど、下呂市のスポーツ振興につながる一助になることを期待していると答えました。

②ケチカン派遣団

今年度もケチカン市の生徒の交換事業が行われました。6月7日から18日まで16人が下呂市を訪れていました。市長表敬訪問、下呂市の小中学校訪問、そして様々な体験活動も行い交流を深めていただきました。6月9日の市長表敬訪問では、記念品目録を贈呈して歓迎の言葉を述べてきました。

③下呂市少年の主張大会の報告

6月14日、第20回下呂市青少年育成市民会議が開催されました。わかあゆ賞受賞者98名の表彰、少年の主張下呂市大会、そして、地域を知り、地域から学ぶ実践発表として、宮田小のコミスクの活動報告がされました。少年の主張大会では、各中学校から6名の代表生徒がそれぞれの思いを堂々と発表してくれました。最優秀賞には、小坂中学校3年川井すみれさん「磨けば光る」、優秀賞には、金山中学校3年山崎月子さん「努力は楽しさにつながる」が選ばれました。両者を含め6名の主張は、私たち大人の胸にも突き刺さったと思います。最優秀賞、優秀賞の二人は、飛騨地区の主張大会に下呂市代表として推薦されました。

④下呂市中学校体育連盟主催大会の報告

下呂市中学校体育連盟主催の大会が開催されました。6月21日22日と明日28日の三日間で行われます。21日22日の様子から、特に3年生は、3年間の成果を思う存分発揮した姿を見せていたと思います。また、6月4日には、今年度初めて下呂市部活動合同壮行会がテレビ会議で行われました。下呂市生徒会連合主催です。地区大会は、7月5日剣道を皮切りに行われます。

教育長 続きまして、事務局報告をお願いします。

事務局 市内小中学校で使用する学習用タブレット端末の更新について、お知らせをさせていただきます。令和6年度第9回教育委員会でもご説明させていただきましたが、学習用タブレット端末をこれまでのWindowsからiPadに切り替えます。小学校児童用が1,142台、中学校生徒用が717台、これに教職員用と予備機を加え、合計2,079台となります。今後のスケジュールとしましては、8月1日までに新しいタブレット端末が納品されます。その後、教職員研修などの準備を行いまして、夏休み明けから、子どもたちが新しいiPadを使えるよう進めていきたいと思っています。子どもたちが意欲的に学べるよう、引き続き小中学校のICT環境の充実に、取り組んでまいります。

教育長 教育長報告及び事務局報告について、ご質問、ご意見はありませんか。

河尻委員 ケチカン市訪問団の下呂市での活動についてですが、ホームステイの受け入れをされたお宅の方から、スケジュールがすごくハードな内容で、1日中移動したり体験したり見学したりと、かなり詰まっていて、子どもが大変そうだったという話を聞きました。そういった下呂市滞在中のスケジュールについて、ケチカン側から、または実際の子どもの話などはありましたか。

教育長 後ほど協議事項で話をしますが、まず健康面についてのみ話してください。

事務局 最後のさよならパーティーの日にケチカン市訪問団の方が市長とお話をしたいということで、短い時間でしたが市長にお越しいただき、こちらの思いと訪問

団の思いをお話する機会となりました。その中で金山国際交流協会の方も付き添いということで同席されており、述べられたご意見を後ほど説明する資料に記載しています。健康面について同様のご心配をいただきましたので、ケチカン市訪問団の方々にお伺いしましたところ、最後のほうで暑い日が2、3日あったけれど元気だった、健康面については心配ないというお話を伺っています。プログラムについては、後ほど協議事項で説明いたします。

教育長 教育長報告及び事務局報告は、以上で終わらせていただきます。

教育長 続きまして議第11号 就学援助申請に係る審査について、事務局の説明を求めます。

(教育総務課長 説明)

教育長 ただいまの説明について、何かご意見ご質問はございませんか。

(質疑等なし)

教育長 日程第5、議第11号について、承認される方は挙手願います。

(全員挙手)

教育長 全員挙手、承認いたします。

教育長 日程第6、協議、報告事項になります。はじめに、ランドセル無償配付事業について、事務局の説明を求めます。

(教育総務課長 アンケートについて説明)

教育長 ご質問やご意見がございましたら、お願いします。

竹田委員 質問内容の最初のところ、「今後の改善点を見つけやすくするため」とありますが、アンケートを実施して、使用感や改善点が見つかった時に、メーカーと相談して修正していくことは可能ですか。

教育総務課長 モンベルさんが立山町さんと共同開発したという経緯もあります。今回の導入にあたって直接モンベルさんとお話させていただいたこともございます。やはり使い続ける中で改善点が見つかると思いますので、いただいた意見は確実に反映していただけるかどうかは別として、モンベルさんに「これだけの意見があった」という形で報告はさせていただきたいと思っております。

三木委員 このQRコードは、まだ仮のものですか。

教育総務課長 その通りです。今回ご相談申し上げ、修正すべき点があれば修正した上で正式にアップします。

三木委員 読み込んでみたところ、質問が随分省かれていたり、1から10に飛んでいたりしたので、これとは連動していないのですね。

教育総務課長 はい。しっかり反映させた上でアンケートを取りたいと思っております。

無笹委員 このアンケートとは少し離れるかもしれませんが、知人から話を聞いたのですが、この事業の対象の方で、市からランドセルをもらったのとは別に、祖父母に買ってもらった結果、一人で2つのランドセルを持っているという話でした。知人からは、これはどういうものかなということでしたが。

事務局長 下呂市としては、使いたい方が申請をしていただいたと考えております。使っただけのものとして理解しております。

教育長 これで承認されれば、アンケートはいつ頃配布されるのでしょうか。

教育総務課長 最終確認を行った上で、早急に配布したいと考えております。結果はまた教育委員会にも報告させていただくとともに、その後9月定例議会の方にも報告させていただきたいと思っております。

(教育総務課長 祝金の支給方法について説明)

教育長 もう一つは祝金の支給方法について、皆様のご意見をいただきたいということです。例えば、この13,020円、13,820円であれば、入札価格に相当する祝金はいくらになるのでしょうか。

教育総務課長 予定では、1,000円未満を切り捨てて、13,000円を考えております。

教育長 どうでしょうか。この件については認めていただけるということでよろしいでしょうか。

(全員異議なし)

教育長 以前も定価16,000円だったのが、祝金15,000円だったということですね。教育委員会としては、これを認めるということで、議会に提出するのですね。

教育総務課長 ランドセルのアンケートとともに、この祝金の方針についても合わせて説明させていただきたいと考えております。

教育長 よろしくをお願いします。それでは次に、中学校の姉妹都市交流事業について、事務局より報告を求めます。

(教育総務課長 説明)

教育長 ケチカン市とペンサコーラ市との海外派遣交流がどのようなことを行っていけば良いかという意見を求めるということでよろしいでしょうか。

教育総務課長 そうです。よろしくお願いします。

教育長 事業の概要と、今回訪問団からの意見、金山国際交流協会からの意見をいただいたので、これらを参考に、今後もっとこのようにしたら良いのではないかとご意見があれば、教えていただければありがたいです。

河尻委員 先ほどケチカン市へ派遣された方は約60万円の費用がかかるとのことでしたが、ペンサコーラ市派遣の方の費用はどのくらいでしょうか。

教育総務課長 同じく約60万円弱です。

細江委員 昨年も少し意見を述べさせていただいたのですが、この事業は長い歴史がありますね。

教育総務課長 再来年には40周年になります。

細江委員 これほど長く継続しているということは、歴史の蓄積による重みを感じます。ここ数年で変わってきたのは、以前は面接に立ち合った際には女性が多かった。よくできる活発な女の子が多いという印象でしたが、私の記憶では昨年あたりは本当に男性が活発で、特に下呂中学校の男性が積極的に参加していました。逆に金山町の女性がいなくなったのは、去年はどういう理由があるか分かりませんが、そのような形で雰囲気が変わりつつあるのが私の感想です。それが良いか悪いかではなく、男性がそういった活動に積極的に参加する、生徒会も同様ですが、男性が物を言い、リーダーシップを取るような時代が変わってきた、積極的に行動するようになったのはここ数年だと感じます。

教育長 校長会でも、本当に数年前までは学校も大変だったので、とにかくこれは教育

委員会でやってくださいとお願いしていた状況もありました。しかし今、時間的にも早く帰れるようになり、子どもたちもグローバル化ということで、そのような機会を求めている状況になってきています。そのため、学校も積極的に協力してくださいということで、実は今年の交流は大変面白いものになったと考えています。この機会を利用して、1日オールイングリッシュデイとして、一切日本語を話さずに一日を過ごしたのが下呂中学校と南中学校です。そこで交流することで、それぞれの交流も色々考えて、かえってハードになったかもしれませんが、子どもたちは一生懸命考えて交流しており、非常に中身の濃いものになったのではないかと感じています。そのような形で、学校も巻き込みながら交流を図っていこうと考えています。このことについてまた校長会でも意見を聞こうと思っています。校長会の理事会でも何か意見はありましたか。

学校教育課長 このことについて、校長会で考えていくということで、今日の理事会においても話をさせていただきました。学校は非常に工夫した交流をしてくれました。自分たちの文化を交流したり、地域の良さを広げたり、1対1で交流したりと、様々な学校が、もしかするとやりすぎて、受け入れたケチカン市の方に負担をかけてしまったかもしれません。これからこの海外派遣について、校長会として、理事会としてどうですかと尋ねました。やはり、両方行ける選択肢があるというのは非常にありがたく、子どもたちがどこに行って多様性を学んでくるかという、そのような機会は他の地域ではあまりないと。これからも続けていきたいですし、下呂市の子どもとして、同じように学べる機会をこれからも作っていききたい、やっていきたいという話をしています。また、校長会の場でも詳しく聞いていると思いますので、報告させていただきます。

竹田委員 学校の先生たちにも協力していただけるとの話を聞き、例えば、小坂や北の地域が遠いということであれば、生徒たちがどこかの学校に集まって交流を図るということは不可能ですか。移動や費用も大変だと思いますが。

学校教育課長 今年の交流を見ると、どの学校も全校での交流がありました。そう考えると、全校で移動するのは非常に難しいこともありますし、その場所のブースを使うこと等考えると、なかなか他の場所に移動してというのは難しいかと思います。

事務局長 今年度につきましては、ケチカン市の子どもたちのホームステイ先は、萩原と下呂の家庭がほとんどでした。移動について心配されていますが、萩原、下呂から星雲会館などに集まってそこから移動するということでした。今年は移動については心配されるような、金山から小坂までずっと移動し続けるということはありませんでした。ケチカンの方も「元気だよ」とおっしゃっていただいたのは、そのあたりもあるのかなと思います。

教育長 来年度につきましては、プログラムの改善はしていくということでよろしいですか。

教育総務課長 はい。

教育長 特に、同じ時期にペンサコーラ市が来るので、これだと学校も両方を受け入れるのは大変になるので、北の方はペンサコーラ市、南の方でケチカン市というような形になってくると、これは良い動きになるかもしれませんね。ホームステイ

についてはどうなるのでしょうか。

事務局長 ホームステイについては、やはりお互い相互交流ということなので、基本的に派遣を申し込む時に、派遣を出されたご家庭で受け入れをしてくださいねという説明が一つございます。

教育長 そうすると、小坂にケチカン市の子も来る可能性はありますよね。金山もあります。これは大変ですよ。この辺は変わることもできますか。

事務局長 そうですね。やはり行ったところの子と会いたいということはあるかもしれません。

教育長 金山から小坂までは大変だということなので、これについても交流と言いながら、ケチカン市でホームステイした家の子たちが来るわけではないのです。向こうの希望の子が来るので、偶然会う場合もあるけれど、そうでない方が多いです。例えば、移動のことを考えれば、なるべく地域を限定して、ケチカン市は南の方でお願いしますね、ペンサコーラ市は北の方でお願いしますね、というように考えることはできませんか。

事務局長 ペンサコーラの方にも国際交流協会のようなところもあるので、相談して紹介していただくような形で協力を求めているのであれば良いかと思います。

教育長 今、プログラムのことで大変だということになると、距離のことを言われたので、このようなことを考えれば、一つ、距離による負担は減るかなと思います。これも考えることはできますよね。加えて、分からなかったのは、ケチカン市の子たちは2時にもう学校が終わってしまうということでした。私たちの感覚では、4時ぐらいまでは当たり前だと思っているところがあるので、この辺も来年のプログラム編成を作る時に少し配慮するということを考えながらやることですよ。そのために、ケチカン市の国際交流協会の方、あるいはペンサコーラ市の国際交流協会の方もいるので、今、先生も含めた会を作っているではないですか。受け入れのために、これに入ってもらおうということは大変でしょうか。

学校教育課長 今後、海外に行く子どもたちは募集をかけていくのですが、行くまでに事前の勉強会を15回ほど行います。その時に、色々な方に協力していただきたいと考えています。OBや教員、それから国際交流協会の方が来ていただけるのであれば、そのようなところにも一緒に入ってもらい、計画の時に意見をいただけるかと思います。

教育総務課長 学校教育課長がご提案した通り、それぞれの地域に国際交流協会がありますので、協力いただけるところは協力いただくというスタンスをもちつつ、より良い方向を目指していけたらと考えております。子どもたちの国際交流を軸に、協力いただける方には協力いただいた上で、より良い方向に進めていきたいと考えております。また、事前研修の中では、行く側の子どもたちの理解を深めるという意味合いもありますし、実際に付いて行っていただけるボランティアの方が、その子の人柄を見て、現地での対応という意味合いもあったりします。そういった意味合いがあるということもご承知いただいた上で、色々な方にご協力いただいて、より良い方向に進んでいけたらと考えております。

教育長 他はよろしいでしょうか。それでは、業務報告をお願いします。

(教育総務課長が業務報告について説明)

(学校教育課長が業務報告について説明)

(文化財課長が業務報告について説明)

(地域振興部長が業務報告について説明)

教育長 各課業務報告につきまして、ご質問等がありましたらお願いします。
(質疑等なし)

教育長 その他について、よろしいでしょうか。
(文化財課長が馬瀬歴史民俗資料館の休館に関する状況について説明)

教育長 馬瀬歴史民俗資料館について、何か質問はありますか。

細江委員 展示している資料を見に来られる方はいらっしゃるのですか。

文化財課長 昨年度で1人くらいと聞いております。昔の戦闘機のエンジンが展示してあり、これに興味を持たれる方がたまにいらっしゃるというところでしょうか。

細江委員 保管場所であれば、旧中原小学校が2階、3階もありますし、そちらに集約してここはもう撤去されたらどうでしょうか。維持管理が難しいようであれば。

文化財課長 取り壊しの方向も考えながら、調整していきたいと思っております。多分修繕する予算は付かないであろうと予想されますので、取り壊しの方向で考えております。ただ、馬瀬の資料は馬瀬にあった方が、皆様の市民感情という点も考慮しなければならないと考えておりますので、その辺をこれから検討していきたいと思えます。

細江委員 中原の公民館など、割と資料スペースがあるのですよ。どうしてもということであれば、そういった場所を使うこともできると思います。この資料館は撤去された方が、後々のことを考えても良いかと思えます。

文化財課長 貴重なご意見ありがとうございます。参考にさせていただき、進めてまいりたいと思えます。

教育長 他によろしいでしょうか。

(教育総務課長 令和7年度岐阜県教育委員会連合会研究総会について説明)

教育長 次回の教育委員会を7月25日に開催することとし、これをもちまして第3回下呂市教育委員会を閉会いたします。

以上、本日の会議の顛末を記載し、相違ないことを証明するため署名する。

令和7年6月27日